



エッジを効かせたボンネットフードカバーは、前と左右にダクトを配置したスポーティな造形を見せつける。



ホイールはクラッグ・ガルバトレ(16×5.5J-19)。タイヤはBFグッドリッチKO2(215/70R16)を組み合わせる。



シエラ純正より片側5mmのワイド化が図られているワイルドな魅力たっぷりの前後オーバーフェンダー。



ロエンらしい凝ったデザインのフロントバンパー。左右ダクトのLEDはシーケンシャルウインカー化が可能だ。

JB74W JIMNY SIERRA

SPECIFICATION

フロントバンパー	12万9800円
フロントグリル	7万1500円
ボンネットフードカバー	8万3600円
オーバーフェンダー	13万2000円
リアバンパー	8万5800円
エレクトロニクスルーフスボイラー	8万2500円
ルーフスボイラー(LED無し)	6万6000円
プレミアム01Sマフラーサイド3本出し	11万5500円
スベアタイヤカバー	8580円
シートカバー	4万4000円～

これまでスーパーカーをはじめとする輸入車から国産スポーツ、ミニバン、SUVまで幅広く手掛けてきたロエンが、ジムニーを手がけた。まずは74シエラから「JAPANA PREMIUM」シリーズからそのスクエアなボディ形状からメルセデスGクラスをイメージさせるモデルが数多く登場しているが、そこはロエン。あくまでもロエンのコンセプトである「アグレッシブ＆スポーティ＆ラグジュアリー」に乗っ取りながら「JAPANA PREMIUM」シリーズにふさわしいプレミアム感を注入。そのフォルムはロエン以外の何ものでもないデザインと凝った作り込みによって構成されている。

前後バンパーは、迫力とスポーティさを併せ持つデザインで、フロント左右には大きな凹形状を、リアにはタテ3連＆ナンバー横にスリット状ダクトを配置するなどロエンテイスト溢れる仕上がり。前後バンパーはシエラ純正フェンダーに対応する設計。ビス留めホールやスリット状ラインを刻んだオーバーフェンダーはシエラ純正より5mmワイド化。エッジを効かせた立体的ボンネットフードとともに、ボディ全体のワイルド感を強烈に高める役割を果たしている。

その他、サイド3本出しマフラーやニヤリとさせるスベアタイヤカバー、シートカバーまで、オリジナリティ溢れるパーツラインアップによって、ロエンジムニーを強烈にアピール。気になる64ジムニーは現在開発中だ。



2ピース風のリアウイング。センター下には横イチのハイマウントを搭載(ハイマウントなしも設定)する。



ジムニーのマスコット「サイ」を被ったフレンチブルドッグがかわいいスベアタイヤカバー。キュートさも演出する。



左右にタテ3連、ナンバー横にスリット状のダクトを配置。フロント同様凝ったデザインのリアバンパー。



スクエアテールを採用した左側サイド3本出しのスポーティなマフラーは、プレミアム01Sマフラー。純正のセンターから後を交換するタイプで、車検対応の予定。ステンレス製。



オリジナルシートカバーは写真のヴィンテージレザーを採用したヴィンテージタン×ブラックと、ホワイト×ブラック(スエード×レザー)、レッド×ブラック(スエード×レザー)を用意する。

ロエン

ROWEN

ロエン事業部 愛知県豊田市堤本町山畑7番地
☎0565-52-8555 <http://www.rowen.co.jp>

「NEWカマーはスクエアな左出し3本出しマフラー」

大人の色気と攻撃性を併せ持つロエンらしさ
どの角度から見ても違和感のない作り



オフロードサービス タニグチ

OFF ROAD SERVICE TANIGUCHI

オフロードサービスタニグチ 兵庫県姫路市豊町御蔭 1110-2
☎079-264-4455 <https://www.ors-taniguchi.co.jp>



リアゲートにはロトボックスをマルチマウントで搭載。ホワイトはポリタンクとして使える。ワークのクラッグガルバルレはオーダーカラーのホワイトを採用。よく似合う。

ロトボックス装着に伴い、視認性を確保できるナンバープレート。横方向に装着位置を調整する機能を持っている。

リアゲート開度で2段階で止まるソーストップダンパー。簡単装着で、背後の障害物へ当たらない。優れたもの。

オフ走行時の安心をもたらしてくれるタンクガードとキャニスターガード。立体構造で、強度が高く、ボルトオンでのDIY装着が可能だ。

中低速を重視したHKSと共同開発のマフラー。加速騒音規制をパスし、合法仕様となっているのだ。

リアバンパーにガーニッシュを同時装着することで、リアビューの印象がかなり変わる。純正テールを使用しながら、かなりオシャレ仕様となる。

ルーフ上のアイテムを出し入れする際、サイドステップがあるのと無いのでは、かなり利便性が変わる。アウトドア必須アイテムと言って過言ではない。



減衰力調整式のダンパーを採用した60ミリアップサスペンション。各種補正作業をしっかりと行い、乗り心地と走行性能を確保している。



リアマットは、防汚、防水性能が高く、丸洗い可能。リヤラゲジスペースへの収納も可能で、オフでの使い勝手がいい。



ラバー製の立体ラバーマットは、泥を受け止めカーペットに汚れを落とさない。オペレーションペダルはロングドライブ時の疲労を軽減してくれる。

JB64W JIMNY

SPECIFICATION			
【外観】			
FRPフロントバンパー	3万9600円	LEDフロントルームランプ	3850円
FRPフロントグリル	3万8500円	LEDリアルームランプ	3630円
スキッドプレートtypeII	2万8600円	立体ラバーマットAT用フロント	7480円
SPステアリング用牽引フック	1万1880円	立体ラバーマットリア	7480円
LEDフォグバルブEX-Ray イエロー2400K	2万3100円	ラゲジマット	1万3200円
タンクガード	2万900円	レーザーシールド5枚フルセット	2万8600円
キャニスターカバー	1万7600円	オペレーションペダルアクセル	1万7248円
アームガードフロント(スチール黒)	2万8600円	オペレーションペダルA/Tブレーキ	8448円
アームガードリア(スチール黒)	2万7500円	インテリアキャップボルト	660円
2段サイドステップ(ステンレス)	2万8600円	ヘッドレストホルダー運転席用	1万1550円
リアショックガード(スチール赤)	1万1200円	ヘッドレストホルダー助手席用	9900円
タンクサイドカバー(アルミ)	8580円	ツートップドアオープナー	2万1780円
リア牽引フック赤(スチール赤)	9900円	ディアルメーターフード	2万7500円
FRPリアバンパー	4万700円	ステンレスロゴプレート	1430円
マルチマウントバー	1万6280円	【チューニング&パワートレイン】	
マルチマウントラケット	8580円	エクシードマフラー	7万6780円
MENBOR-BOXダイヤモンド450DUO	7万6780円	ソルバエアフィルター	5500円
MENBORテラタックシステム	2万8180円	マフラーアース	1760円
ROTOPAX 2ガロンウォーターホワイ	1万780円	4x4プラスチャージング	9680円
ROTOPAX 2ガロンロード&トレイルオレンジ	1万4080円	オイル添加剤スーパーイエロー150ml	1万6500円
ROTOPAX ロックバックマウント	1万4080円	【サスペンション】	
ROTOPAX 標準バックマウントエクステンション	6600円	ソルバACE60サスペンションキット	20万9440円
ORTLIEB HANDLEBER OACK 15L	1万8150円	ソルバクロスメンバー	2万7500円
タニグチバッテリー固定ステーIIレッド	3520円	調整式レバライザーロード	4950円
メッシュダクトシートダクト	660円	【タイヤ&ホイール】	
テールランプガーニッシュ	1万3200円	WORK CRAG GALVATRE オーダーカラー	
【室内】			
シートベルトらくらく君	3520円	BFグッドリッチ マッドトレインKM3	205/80R16

くさい汚れた物を気にせず収納することが出来る。サイドステップは重宝する。オルトリップの防水バックは、すぐに処分したいゴミなどを一時的に収納するのに便利。フロアマットもラバー製の立体仕様でカーペットに泥を落とさない。リアマットは、水に強く丸洗い可能。全てが、アウトドアアクティビティに直結している。これは、代表の谷口氏がアウトドアのエキスパートである為、本人が欲しいアイテムを製作しているからだ。お仕着せの見た目だけではない、アウトドアスペシャルなジムニー。Funto Adventureという、テーマに沿って作られた本物のアウトドアジムニーがこのJB64と言えるだろう。オフアクティビティリストあふれるリアビュー。この後ろ姿に、アウトドアでのテイストが詰まっている。もちろんオシャレさを忘れていないのもポイントだ。

Funto Adventureを提唱しているタニグチ。そのテーマを具現化しているクルマがこのジムニーだ。JB64にソルバACE60サスペンションを採用。サイドステップも装着し、ルーフにはメナボのジェットバックを、ゲートにはロトボックスをマルチマウントでダブル搭載。オルトリップの防水バックも付く。これらの装備は様々なアクティビティとロングドライブに対応したカスタム内容。ソルバACE60サスペンションは、オフロードをメインに考えられたサスペンションと発表されている。これは、キャンプ場などのアクティビティフィールドにおいて安心感が高い。ロングドライブ時の快適性を確保しつつ、オフロードでの性能も高い。メナボのジェットバックは一見するとルーフバックに比べて容積が少なく感じるが、実はアクティビティで使った濡れたウェアなど、車内に置きた

「アウトドアエキスパートが作ったジムニー」

全てのスペックがアウトドア志向 自然と遊べるジムニーの新たな形



しっかりとした牽引フックとスキッドプレートを装備。穴あけ加工を必要とせず、最強レベルに強固な作りだ。見た目のインパクトも抜群。



オフ性能を向上させるフロントバンパーとスキッドプレート。純正のフォグランプが使えるのがポイント高い。おサイフにも優しいのだ。